

# 平成29年度 まちづくり活動助成 「地域“魅力”アップ部門」 公開選考会

**日時** 平成29年6月17日(土) 10時30分～16時00分

**会場** 名古屋都市センター 11階 ホール

平成29年度のまちづくり活動助成「地域“魅力”アップ部門」を受ける団体を  
選考する公開選考会を行いました。今年度は9団体の応募がありました。



## 「地域“魅力”アップ部門」応募団体(9団体)

- 一般財団法人 まちの縁側クニハウス
- NPO法人 ミッションクラブ
- 和みの散歩道の会
- 東区文化のみちガイドボランティアの会
- こどものまちサミット実行委員会
- ふるさと徳重まちづくり会
- 栄東まちづくりの会
- なごや寺町まちづくり協議会
- 子どもと女性のイスラームの会

## ◆ 開会・委員紹介

名古屋都市センター参事の挨拶、会の進行についての説明のあと、選考する  
「まちづくり基金運用委員会」の委員を紹介しました。

### まちづくり基金運用委員会 委員紹介



名古屋工業大学大学院  
工学研究科 准教授

石松 丈佳 委員長



特定非営利活動法人  
岡崎まち育てセンター・  
りた事務局次長

三矢 勝司 副委員長



公益社団法人名古屋  
青年会議所 副理事長

鈴木 和貴 委員



パブリック・ハーツ株式  
会社 代表取締役

水谷 香織 委員



名古屋市住宅都市局  
都市計画部長

渡邊 義男 委員

## ◆ 「地域“魅力”アップ部門」の選考の進め方について

公正を期するため、また、各団体の活動をより多くの人に知ってもらうため公開としていること、選考の進め方についての説明を行いました。

続いて、事務局から以下のような選考方法についての説明を配布資料に沿って行いました。

- 1次審査は事前に提出された申請書類と提案発表・質疑応答で審査をします。
- 2次審査は1次審査通過団体に対し、委員による質疑を行います。
- その結果を踏まえ、委員全員が「**選考にあたって重視する点**」の5項目の**必要性、独創性、実現性、発展性、活動実績と主体性**についてそれぞれ「**3点**」「**2点**」「**1点**」「**0点**」と評価し、委員の平均点を出します。  
原則、委員の**平均点が12点以上の団体**について、予算の範囲内で上位団体から順に選考します。  
12点未満であっても、特に委員が助成の必要があると評価する団体について、予算の範囲内で上位団体から選考することができることとしています。  
なお、選考団体の申請額の合計が予算を超えるようであれば、申請額を減額し助成することもあります。

## ◆ 「地域“魅力”アップ部門」 1次審査 9団体による提案発表と質疑応答

発表時間は各団体7分間です。1分前にタイムキーパーがベルを鳴らし、『あと1分です』と書かれた札を揚げます。終了時間になるとタイマーが鳴り、タイムキーパーが『終了』の札を揚げ、発表は終了となります。発表の後は、5分間の持ち時間で、委員からの質疑に対し、答えていただきました。

### 1.一般財団法人 まちの縁側クニハウス

●提案名:安心・安全を確保し、老若男女の交流を高めて地域活性を推進

#### 【日ごろの活動内容と、提案内容】

クニハウスでは、誰もが住み慣れた土地でお互いに助け合い支え合って、健やかな生活の実現を目指し、ボランティア仲間と、赤ちゃん、妊婦さん、引きこもりの若者と、幅広い人たちを対象とした「まちの縁側」の諸活動を行ってきました。

ただ、その施設自体も老朽化してきたため、今の利用者の方々の安全と安心を確保し、利用者の増加と地域が活性化するためにも、助成を受けて、施設の修理や補修を行いたい、という提案でした。



## 2.NPO法人 ミッションクラブ



●提案名：ジャズグラフィティ名古屋テレビ塔

### 【日ごろの活動内容と提案内容】

ミッションクラブは、文化・芸術の促進および地域安全・交通安全の増進を目的にしたNPO法人として活動しています。

今回、耐震工事を直前に控えたテレビ塔でジャズライブ・写真展示・ワークショップを開催し、この久屋・栄地域の歴史と愛着を感じてもらいたいと考え、名古屋まつりと同日に開催することで効果を高めながら、久屋・栄地区を魅力ある街として、感じ、理解してもらうことを目標にジャズライブ・写真展示などの参加型の音楽・写真ライブ活動がしたいとの提案でした。

## 3.和みの散歩道の会



●提案名：高架下を負の遺産とせず、愛着の持てる魅力ある環境づくりと地域コミュニケーションづくりの資源としての可能性を追求したい。

### 【日ごろの活動内容と提案内容】

和みの散歩道の会は、高架下の散歩道の「芸術・文化・健康の道」として親しまれる空間への発展、コミュニティの形成を目的にまちづくり活動を行っています。

今回の提案では春・秋の年2回、‘ザ・和みの散歩道祭’を開催することで地域を盛り上げるとともに、高架下空間の展示スペースを近隣住民等に開放し、アート作品の常設展示ができる環境を整備することで、発表・交流が行える、地域コミュニティの場としていきたいとの提案でした。

## 4.東区文化のみちガイドボランティアの会



●提案名：主税町公園に【名古屋輸出陶磁器産業ゆかりの地】 記念銘板設置

### 【日ごろの活動内容と提案内容】

東区文化のみちガイドボランティアの会は、文化のみちのガイド活動を通して名古屋市東区の優れた多様な歴史、文化などを多くの人に紹介しています。

愛知県・名古屋市の産業振興の基となった東区の陶磁器輸出産業の歴史を広く知ってもらうため、主税町公園に記念銘板を設置することで、ガイドで使用するだけでなく、東区の陶磁器産業とまちの歴史が地域に語り継がれ、教育や地域の魅力発信に寄与するのではないかと提案でした。

## 5.こどものまちサミット実行委員会

●提案名：子ども心くすぐるまちづくりシンポジウム

### 【日ごろの活動内容と提案内容】

こどものまちサミット実行委員会は、子どもや若者たちが主体的にまちづくりに関わる市民へと育つ社会づくりを目的として活動しています。

今回の提案では、子どもたちが主体的に社会に参画し、「活動する市民」となることを促し、必要な環境について議論します。企画会議、サミットの開催、報告書の作成を行い、名古屋で主体的にまちづくりに関わる子どもたちが増えるとともに、子供たちの成長を見守る大人を増やしたいとの提案でした。



## 6.ふるさと徳重まちづくり会

●提案名：ひと・まち・歴史 歌でつながる ふるさと徳重

### 【日ごろの活動内容と提案内容】

ふるさと徳重まちづくり会は、地域住民が主体となり、地域の課題を他団体と協力・連携して解決し、安全・快適に住み続けられる街にすることを目的に設立されました。

今回の提案では、学区のシンボルとして住民の作詞・作曲・振付による「徳重の歌」を作成し、多世代間の交流と地域への愛着を育てます。また祭りや敬老会等の活動で楽しく効果的に普及させるために、CDや歌に込められた歴史や思いを伝える郷土資料を作成し、地元の郷土史家に地元の歴史・文化を学ぶ「歴史講座」の開催も行っていきたいとの提案でした。



## 7.栄東まちづくりの会

●提案名：年齢・国籍を超えた地域主体のまちづくり

### 【日ごろの活動内容と提案内容】

栄東まちづくりの会は、「楽しいまち、住みよいまち、住みたくなるまち」を信条として、明るく安全で地域の暖かさを感じるまちづくり活動を行っています。

今回、月1回の池田公園の清掃活動をはじめ、防犯や交通安全活動を実施し、安心・安全で快適なまちをつくる他、各種イベントを通して外国人との共生を推進する。また地域のふれあいを深める事業として池田公園夏祭りを開催し、夏祭りを通し、年齢や国籍を越えて、住民・事業者・従業員が一体となり、まちづくりへの関心を高めたいとの提案でした。



## 8.なごや寺町まちづくり協議会



●提案名：どんぐり広場再生計画

### 【日ごろの活動内容と提案内容】

なごや寺町まちづくり協議会は、多くの寺社や仏壇仏具店が軒を重ね名古屋城下の入口として栄えたこの地域の文化を活かし幅広い世代の誰もが暮らしたくなるようなまちづくりを目指し活動しています。

今回の提案は、高齢化が進み子どもが減少している現在、使われていない「どんぐり広場」をリノベーションし、子供だけでなく付き添う大人や近隣住民も憩える緑豊かな都会の中の森にするため、公園内設備を団体と大学で共同制作を行い、地域を巻き込んで設置を行いたい、との提案でした。

## 9.子どもと女性のイスラームの会



●提案名：防災ハロウィンパーティー

### 【日ごろの活動内容と提案内容】

子どもと女性のイスラームの会は、日本人のイスラム教改宗者の母親が中心となって活動しており、地域住民と親交を深め、幅広い分野でお互いを理解することを目的とし、宗教や国籍を問わず、主にくつろぎ、安らげる場所の創造や国内外の被災地への物資支援から語学教室、イベントの企画運営、商品開発や販売を行っています。

今回の提案は、国籍を越えて多くの人と災害や防災の知識を共有するため、身近にあるものを使い被災した時の防寒や応急手当を学んだり、地域の避難所や地形を巡ったり、子ども達には事前にお願した地元の家庭でお菓子を貰う楽しみを盛り込んだ「防災ハロウィン・パーティー」を行いたいとの提案でした。

### ◆「はじめの一步」部門 結果公表

平成29年度まちづくり活動助成「はじめの一步」部門の助成団体の選考結果を三矢副委員長より発表していただきました。

三矢副委員長

まちづくり基金運用委員による書類審査の選考の結果、残念ながら両団体とも、不交付となりました。団体の皆さんの活動は、尊い活動ではございますが、助成の趣旨、選考の基準に合いませんでした。今後の活動、ご活躍に期待したいと思います。



選考結果	団体名
不交付	ラジオ体操クラブ
不交付	花ガッパで天白地区の美しい街づくり

## ◆ 「地域“魅力”アップ部門」 1次通過団体の公表

各団体による提案発表、質疑応答を受けて委員による1次投票の結果、1次審査を通過した団体の公表を行いました。5団体が通過し、会場からは拍手と歓声があがりました。

### 1次審査通過団体（発表順）

- NPO法人 ミッションクラブ
- 和みの散歩道の会
- 東区文化のみちガイドボランティアの会
- ふるさと徳重まちづくり会
- なごや寺町まちづくり協議会



## ◆ 「地域“魅力”アップ部門」 2次審査 公開質疑

1次審査を通過した団体に対して、委員による公開質疑を行いました。

### ● NPO法人 ミッションクラブ



**渡邊委員** 今後、どこの地域に軸足をおいて活動を行っていきますか。地域のまちづくりという観点からするならば、基本となる地域としてどこに軸足をおいて活動していくか、お伺いしたいです。

**発表者** 写真・アート・音楽とコラボした企画なので、場所は問わないが特定の場所を起点にすることは以前から考えています。色々なプランを考えていますが、とりあえずテレビ塔での企画を実現させ、栄辺りを基軸としていきたいです。

**石松委員長** 発展性のところで今後どのような仕掛けをお考えですか。

**発表者** 「趣味力を社会に生かす」をテーマに自己満足を脱皮したいと考えており、個人でも活動していきたいという方や人脈のある方と連携しながら、栄を盛り上げるお手伝いができる力をつけていきたいです。

**水谷委員** 都市センターのまちづくり活動助成を活用する意義や価値はどこにありますか。

**発表者** 発足から7年、初めは情熱だけでやってきましたが社会的公益性で個人の生活を犠牲にするのをやめ、今後の勉強になるのでチャレンジをしました。趣味が事業になるので共有して次に繋げていきたいと考えています。



## ●和みの散歩道の会



石松委員長

常設展示の内容について資料にはホームセンターにある飛び石の写真がありました。全く想像がつかなかったの、もう少し補足をお願いします。

発表者

作品を展示するときには、段ボールを敷いたり擁壁に鎖を吊るしたりしているが、もう少し長く展示をしたいという要望がありました。市道であり市の施設であるため、工事等をして展示することができません。そこでホームセンターの飛び石を敷き詰めれば、工事を必要とせず、いつでも撤去できるような展示を考えています。

渡邊委員

今回1回限りで常設展示の場を作ってしまうというお考えですか。

発表者

今回で完成ということは考えておりません。70mくらいの空間に展示をさせていただきます。1週間から2週間くらいで展示を変えていきます。プロの方の作品は一切なしで、地域の人々の作品を展示し、ここへ来てよかったと思える作品の展示をしていきたいと考えています。

渡邊委員

地域の方々の会への加入は進まないのですか。また、近隣で行われる日泰寺の「市」などの人を呼び込むようにして資金を調達する仕組みは考えなかったのですか。

発表者

私たちは「地域を安心安全な、自分たちで活性化していこう、守ろう」ということが出発点になりますので、商店街の人を連れてきて何かをすることは考えておりません。自分たちで自分たちの街を綺麗にしていこう、いい所にしようと思っております。

## ●東区文化のみちガイドボランティアの会



水谷委員

企業さんからの寄付はお考えではないですか。

発表者

今後、活動していく上で地域の企業やグループから支援金が頂けるようなプロジェクトがありましたら是非話はしていきたいです。ボランティアであるので広告代をとって何かを行うことは不向きかと思っていますので慎重にしていきたいです。

鈴木委員

色々な支援のされ方があるので、探っていただくとよいと思います。

発表者

今回の銘板には、公園の中で企業色を出してもらっては困るという土木事務所の考え方もありましたので断念しました。ケースバイケースで進めていこうと思います。

## ●ふるさと徳重まちづくり会



鈴木委員

CDの配布先をもう少し具体的に教えてください。

発表者

各種団体、小中学校、お祭りなどの協賛金を頂いているところなどにお配りします。行政関連や地下鉄の駅にも配布をする予定です。

鈴木委員

歌の作成は良いことですが、配ることではなくいかに聞いてもらうかということ



が大事なことではないでしょうか。地元のラジオで流したり、地元の歌手に歌ってもらうなどして歌を発信し、広めていくことに力点を置いて考えていただきたいです。

**発表者**

今年は無料で配りますが、反響が良ければ売ることも考えています。活用の仕方を相談しながら、各種団体、中学校の授業、祭りでも流す予定です。

**石松委員長**

まずは値段をつけてみてはいかがでしょうか。無料で配るには有り難がられるし、買う人も出てくれば活動資金にもなります。

## ●なごや寺町まちづくり協議会



**渡邊委員**

名古屋市からの助成金は地区まちづくり構想を作るためと考えてよろしいですか。

**発表者**

はい。事前の調査として助成をお願いしております。

**渡邊委員**

なぜどんぐり広場なのか。街の中にどんな位置づけをして、将来のビジョンなどをどう考えていますか。

**発表者**

メンバーに思い入れがあり、地域的にもシンボルである所です。将来的に住民指導の行政の施策の取り方も必要という話もあり、下日置広場がファーストステップになるのではないかと考えます。

**石松委員長**

広場設置について、何個作る予定ですか。

**発表者**

正確な個数は未定ですが子供も含めワークショップで組み立てていきたいです。

**石松委員長**

住民を巻き込むようなワークショップ形式で作ると、愛着もわくので、まちづくりとしての位置づけが高まるのではないかと思います。



## ◆「地域“魅力”アップ部門」最終結果の公表

平成29年度まちづくり活動助成「地域“魅力”アップ部門」の助成団体の選考結果を三矢副委員長より発表していただきました。2次投票、最終審議の結果、今年度は1次審査を通過した5団体の全ての団体が選ばれました。

**結果発表:三矢副委員長**

評価点が12点以上の3団体には申請額の満額を交付とし、惜しくも12点未満だった2団体については、総額の範囲内で申請額の約1/2の助成交付となりました。団体の皆様の活動に期待いたします。





平成29年度まちづくり活動助成「地域“魅力”アップ部門」選考会 最終集計結果

順位	No.	団体名称	委員の平均点 (15点満点)	選考にあたって重視する点を評価															申請額 円	助成上限額 円									
				計				必要性			独創性			実現性			発展性				活動実績と主体性								
				3点	2点	1点	0点	3	2	1	0	3	2	1	0	3	2	1			0	3	2	1	0				
9	2-1	まちの緑側クニハウス	9.60点	6	12	6	1	2	2	1	0	0	2	3	0	1	4	0	0	0	2	2	1	3	2	0	0	260,000	0
2	2-2	ミッションクラブ	12.60点	14	10	1	0	2	3	0	0	5	0	0	0	3	2	0	0	1	3	1	0	3	2	0	0	280,000	280,000
4	2-3	和みの散歩道の会	11.40点	10	12	3	0	3	1	1	0	1	3	1	0	2	3	0	0	0	4	1	0	4	1	0	0	300,000	155,000
3	2-4	東区文化のみちガイドボランティアの会	12.20点	12	12	1	0	4	1	0	0	1	4	0	0	2	3	0	0	0	4	1	0	5	0	0	0	260,000	260,000
8	2-5	こどものまちサミット実行委員会	9.80点	5	14	6	0	1	3	1	0	1	3	1	0	1	3	1	0	2	3	0	0	0	2	3	0	300,000	0
5	2-6	ふるさと徳重まちづくり会	11.00点	8	14	3	0	1	2	2	0	2	3	0	0	2	3	0	0	2	2	1	0	1	4	0	0	300,000	150,000
7	2-7	栄東まちづくりの会	10.00点	8	10	6	1	1	2	2	0	0	3	2	0	3	2	0	0	0	2	2	1	4	1	0	0	300,000	0
1	2-8	なごや寺町まちづくり協議会	12.80点	14	11	0	0	3	2	0	0	3	2	0	0	2	3	0	0	2	3	0	0	4	1	0	0	240,000	240,000
6	2-9	子どもと女性のイスラムの会	10.80点	8	13	4	0	5	0	0	0	2	2	1	0	1	3	1	0	0	4	1	0	0	4	1	0	256,000	0

◆ 委員長による講評

すべての発表を通して、石松委員長が講評を述べられました。



講評：石松委員長

全体の講評としてキーワードを5つ挙げさせていただきました。まず、「共」ということでまちづくりというのはみんなで共有できるテーマやスペースを共有できるかどうかということが非常に大きな問題で、プレゼンテーションの中で、「ほんとにこのスペースは共有できるのかな」「共有できる内容になっているのかな」ということが非常に気になりました。和みの散歩道の会さんと安心・安全なまちづくりという話ができましたが、非常に分かりやすい共有しやすいテーマだなと思いました。あるいはふるさと徳重まちづくりの会さんの歌で公募をしていただくというのは、公共性や共有を高める大切なプロセスであると思うので、共有できるプロセスをしっかり組み込んでいただくともちづくりもみんなのものになっていくのではないかなと思いました。その共有をするという点で、2次審査のときに公共性や共有性を高めるという点でCDを売ったり、個人に資金を負担させたり、逆にミッションクラブさんでは公的資金を獲得するという点で、趣味から公共性のあるものにしていきたいということがすごく印象に残りました。

次に「掘」についてです。ミッションクラブさんが名古屋駅が全国的な産業の核になっていく中で、栄を考えて消去法という形でどんどん掘下げていくと、やはり文化が残ったという話が印象を受けました。地域に潜在する特性を際立たせ価値を創出させていくというのは非常に大事で、もともと何もあるわけではない、掘っていくと見えてくることがあると思いますので、こういう点では東区の文化のみちガイドボランティアの会さんの産業歴史の掘り起しというのは、非常に参考になりました。



講評:石松委員長

3つ目は「顔」です。「顔」が見える活動かどうかという点で、惜しくも1次の段階でもれた団体さんの提案されたまちづくりは果たしてどういった方々が参加されて、従事するのかということが、イメージできませんでした。当然、顔は知らないですからイメージはできないですけども、具体的ににならないと実体的なまちづくり活動に繋がっていかないと思いますので、常に「顔」が見えるスケールや仕掛けを大切にさせていただきたいです。特に都市センターのまちづくり公募という点では地域性を条件に掲げている部分もございますので、そういう点では「顔」というものが非常に大事になってきます。是非そういう点を考えながらスケールや仕掛けを考えていただけたらと思います。

4つ目は「質」です。例えば写真でまちづくりを仕掛けていく仕掛け、写真・音楽・デザイン・歌の質というのは、非常にまちづくりに大きく影響すると思えました。私もデザインによって、まちづくりやコミュニティがどのように活性化していくかというのを非常に気にしながらデザインの価値を考えているので、ここが一番気になる場所でした。そういう点でなごや寺町まちづくり協議会さんのプレゼンテーションの中で出てくるアイポのデザインは質を保つ上で非常にいい事例だったと思います。ここで皆さんにお願いですが、一餅は餅屋に頼もうデザインや作曲がみんな得意なわけではないので、その辺は頼める範囲でクオリティの高い仕事をしてくれる方々に頼んでまちづくり全体のクオリティを上げていくということを心がけていただければなと思えました。

最後は「熱」です。今回も非常に熱のこもったプレゼンテーションで私の中で印象に残ったものがいくつかあります。ミッションクラブさんが「趣味で終わりにするのはいいんです」「栄北のジャングルを何とかしたいです」とか、ふるさと徳重まちづくり会さんが「県民の歌を私も歌いたい」というのが非常に印象に残りまして、そのような熱意はまちづくりにとって非常に大事だと思えました。こういった意味で、心からやりたいなと思うことをやっていただきたいのと、それが実体のあるまちづくりに繋がるのではないかと思いました。

## ◆ おわりに

16:00に全てのプログラムを終了し、閉会しました。参加された方にはアンケートにご協力をお願いして、帰る際に回収をさせて頂きました。

アンケートでは、まちづくりに関する団体や個人との交流があった場合、課題や改善点、活動情報の共有をしたいという意見がありました。

皆さんの意見を参考にし、より良いまちづくり活動助成事業にしていきたいと考えています。

### ★ 平成29年度 まちづくり活動助成 選考団体の皆さん

1. なごや寺町まちづくり協議会
2. NPO法人 ミッションクラブ
3. 東区文化のみちガイドボランティアの会
4. 和みの散歩道の会
5. ふるさと徳重まちづくり会 (得票順)

